

みんなの声が国・北海道を動かした！

昨年の署名数 北海道議会へ 35,887 筆・国会へ 4,300,942 筆

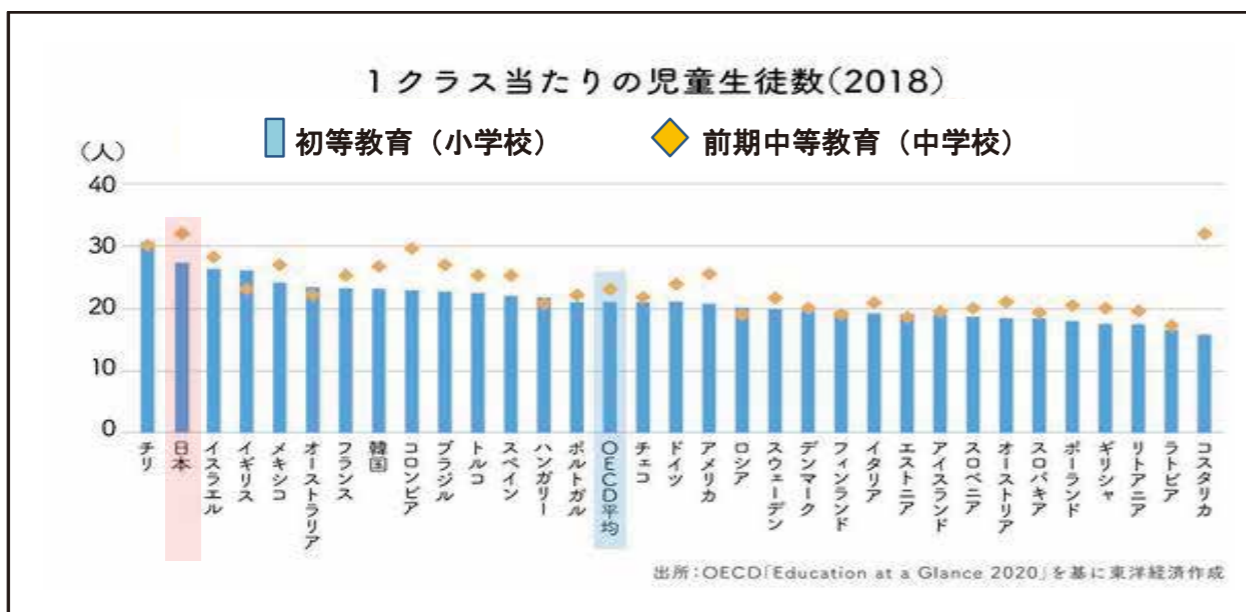
◎国が小学校の2～6年生の35人以下学級実施を決定。

◎北海道は小学校の35人以下学級を国より1年前倒しで2024年度までに実施を決定。

今年も教育全国署名にご協力をお願いします

教育予算を大幅に増やして、少人数学級の前進を！

日本の教育予算は国際的に見ても少なすぎます。2017年の日本の公財政教育支出の対GDP比は2.9%でOECD加盟38か国中、下から2番目の低さです。せめてOECD諸国平均の4.1%まで教育予算を増やせば、すべての学校の少人数学級と幼稚園から大学までの教育無償化を実現することができます。



ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会 Tel 011-231-0816

札幌市中央区大通西12丁目 北海道高等学校教職員センター内



教育条件整備の拡充を！

◎公立・私立ともに授業料の無償化をすすめ、お金の心配なく学べる環境を。

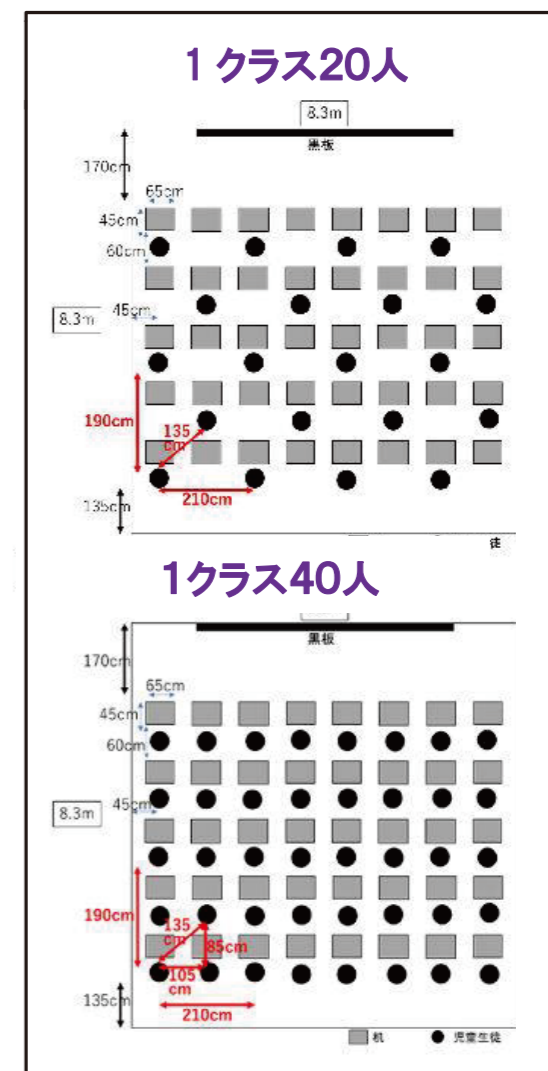
◎特別支援学校設置基準を策定し、過大・過密の解消を。

◎先生増やして、子どもたちを大切にする教育を。

分散登校で20人学級は感染防止のみならず、教育的効果が明らかになりました！

昨年の分散登校は、思いもかけず20人程度での授業になり、勉強も分かりやすく、学校が楽しいなど、教師や子どもたちから好評でした。

文科省の衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」では、人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けることを推奨しています。



衆議院議長 様

参議院議長 様

国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！

2021年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名

I 請 願 趣 旨

少人数学級を求める多くの父母・保護者・地域、団体からの声、自治体での意見書採択等の動きに押され、義務標準法の改正によって小学校での35人以下学級が前進しました。全会一致で採択された附帯決議には、35人以下学級をすすめる際、加配定数を削減しないことや、安定的な財源を措置すること、中学校での35人以下学級を検討すること等が盛り込まれました。

しかし、35人以下学級は小学校のみであり、実現に5年かかること等、課題は多く残ります。中学校や高校も含めて、「20人学級」を展望したさらなる少人数学級を早急に実現することは国民の切実な願いです。また、新型コロナウイルス変異株が流行するもとで子どもたちのいのちと健康を守るために、緊急に20人程度での授業ができるための教育条件整備も求められています。今こそ国の責任による少人数学級のさらなる前進を迫るときです。

切実な課題である教職員の長時間過密労働解消のためには、少人数学級の前進とともに、義務・高校標準法を改正し抜本的に正規・専任の教職員を増やすことが必要です。同時に、私学の教職員数を増やせるよう私立高校等経常費助成補助を大幅増額することが必要です。

公立・私立ともに学費の無償化をすすめ「無償教育の漸進的導入」（国際人権 A 規約）を具体化することなど、子どもたちが安心して学べる教育条件の整備を国の責任で着実に前進させることが必要です。

日本の「公財政教育支出の対 GDP 比（2017 年度）」は 2.9% と OECD 諸国の中で下から 2 番目です。これを OECD 諸国平均 4.1% まで引き上げれば、小・中・高校の 20 人学級を展望したさらなる少人数学級の前進や、ゆきとどいた教育を保障する教育条件整備と、公立・私立ともに就学前から大学まで教育無償化をすすめることが可能となります。

憲法と子どもの権利条約が生きて輝く学校づくりをすすめるために、すべての子どもにゆきとどいた教育を実現する教育条件整備を以下のようにお願いします。

II 請 願 項 目

1. 子どもたちのいのちと健康を守るとともに、学ぶ権利を保障するため、教育条件整備に全力をあげてください。
2. 教育予算を OECD 諸国並みに計画的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
3. 国の責任で小学校全学年35人以下学級を早期に実現するため5年計画を前倒ししてください。
4. 小・中学校、高等学校の「20人学級」を展望したさらなる少人数学級をすすめてください。また、幼稚園や特別支援学校学級の学級編制標準の引き下げをすすめてください。
5. 義務・高校標準法を改正し抜本的に正規・専任の教職員を増員してください。
6. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。
 - (1) 高校・大学等の学費無償化と高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
 - (2) 私学経常費助成補助の増額と就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。
7. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。
 - (1) 実効ある「特別支援学校設置基準」を策定し、過大・過密を解消するため学校新設をすすめてください。
 - (2) 学校の耐震化・老朽化対策をすすめるとともに、洋式トイレやエアコンの普及をすすめてください。
8. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

名 前（フルネームで）	住 所（北海道△△市□□町1丁目2-3 ← 番地までお書きください）
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道

※名前(姓)や住所を「 // 」 「同上」のように省略せずに記入してください

北海道議会議長様

2021年度 北海道の子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

I 請 願 趣 旨

新型コロナウイルス感染拡大が2年目になり、この間、学校では多くの子ども・教職員が感染し、学校・社会生活にまつて経験したことのない甚大な被害を及ぼしています。国はコロナ対策もあり、40年ぶりに小学校の35人学級実施を決めました。

昨年北海道では、小学校3年生から6年生までの35人学級実施が決まり、国の実施より1年前倒しの計画になっています。しかし、今の状況では「3密解消」には程遠く、道内の学校でも多くの新型コロナ感染者が出ています。昨年の分散登校時は思いもかけず20人程度の学級で授業再開になり、勉強も分かりやすく、学校が楽しいなど、教師や子どもたちから好評で、20人学級の教育効果も明らかになりました。将来の「20人学級」を展望し、北海道でも、子どもたちにとって安全・安心な学校、ゆきとどいた教育の拡充めざし、早期に少人数学級の推進を求めます。

また、北海道では毎年学校統廃合、高校再編がすすみ、地域から文化の岩でもある学校が減少しています。子ども一人ひとりの教育を受ける権利を保障し、保護者・地域・住民の声を大切にした教育行政をすすめてください。

日本の「公財政教育支出の対 GDP 比（2017 年度）」は 2.9% と OECD 諸国の中で下から 2 番目で、家庭に教育費の負担が大きいのしかかっています。貧困と格差が広がる中、子どもたちも保護者も、お金の心配なく安心して学ぶことができるよう、北海道としても教育費の無償化をめざした施策が求められます。

II 請 願 項 目

1. 北海道の教育予算を計画的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。
2. 北海道として、小学校35人学級実施の前倒しと、中学・高校への導入をすすめてください。
3. 新型コロナウイルスの感染を防止し、安全・安心な学校をめざすための教育条件整備をすすめてください。
 - (1) 子どもたちが安心して学校に通えるよう、20人以下の授業を可能とする教職員増や施設設備などの条件整備をすすめてください。
 - (2) 20人以下学級が可能となるよう、国に必要な条件整備を要求してください。
4. すべての子どもがお金の心配なく学べるよう、教材費、給食費、授業料などの教育費無償化、大学生への給付型奨学金の拡充をすすめてください。
5. 深刻な教職員の超過勤務解消のため、業務負担を軽減し、道で正規・専任の教職員を加配してください。
6. 学校統廃合・高校再編は、保護者・地域・住民の声を十分受け止め、機械的に行わないようにしてください。
7. 特別支援学校の過大・過密を解消し、特別支援学級・学校に在籍するすべての子どもにゆきとどいた教育ができるよう、教職員配置や施設・設備の改善を行ってください。

名 前（フルネームで）	住 所（北海道△△市□□町1丁目2-3 ← 番地までお書きください）
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道
	北海道

※名前(姓)や住所を「 // 」 「同上」のように省略せずに記入してください